

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年10月1日

事業所名 児童発達支援 児童園 太陽 緑

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	0	共有スペースと専用スペースを設けています。	児童発達支援と放課後デイサービスの訓練室を分けていますが異年齢交流の重要性も考慮し安全なスペースの確保を行います。
	2	職員の配置数は適切である	14	0	ゆとりのある配置を行い丁寧な支援に努めています。	今後も丁寧な支援が行えるよう基準以上の人員配置に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	1	バリアフリーになっていない箇所の注意喚起を行っています。	障がい特性に応じた環境を作れるよう環境整備に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	0	適宜、消毒や換気を行っています。	今後も清潔な環境の保持に努め、安全・安心に活動できる体制作りを行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14	0	社員・パート共、PDCAを意識するよう研修しています。パート職員含め全職員が意識できるよう改めてミーティング等で話し合います。	今後も全職員が業務に主体的に関われる体制作りを行ってまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0	毎日ミーティングを行っています。今後もより良い支援となるようミーティング等で話し合います。	評価表や日々の評価を職員間で共有し業務改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	0	公表しております。	今後も公表し見ていただき改善すべきところは改善し支援の質の向上に努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14	0	福祉課や相談支援専門員様の意見を取り入れより良い支援の構築に努めています。	外部評価をしていただく機会を検討したいと考えております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14	0	年間研修計画に沿って研修していますが出勤数の少ないスタッフは、研修やミーティングが紙面上となる場合もありますので出勤数の少ない職員も参加できるように研修日を設定しています。	研修プログラムが固定化しないよう外部研修や他事業所の職員による違う視点での研修も取り入れていきたいと思っております。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0	児童発達支援管理責任者が保護者様と面談を行っています。今後も行いニーズの把握に努めます。	児童発達支援管理責任者以外の職員でもアセスメントができる目を養っていただけるよう人材育成に努めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14	0	子ども別に課題ファイルを作成し、わかりやすく取り組んでいます。	標準化したツールが支援にとって有効であれば積極的に導入を検討します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	0	児童発達支援管理責任者が中心となって行っています。	支援計画に基づく支援会議を今後も行い具体的に支援内容を明示します。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	支援会議に基づく支援会議が行われています。	今後も支援会議を密に行ってまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	1	社員会議で大まかな内容を決め、細かな内容や微調整を全スタッフで行っています。短時間職員からの立案を聞ける環境を整えます。	現状とても良い流れができていますので今後も継続してチームアプローチを行います。

な 支 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	季節の行事や社会情勢を踏まえ固定化しないようプログラムを立案しております。	幅広く意見を取り入れ固定化しないように療育効果が得られるプログラム作りを行います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	0	個別療育・集団療育の特徴を生かし相互作用を促す支援を行っています。	今後も個別の良いところ、集団の良いところを取り入れ療育効果の向上を図ってまいります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	毎日ミーティングの時間があります。支援の内容・役割も毎日伝え、聞き漏れがないよう徹底して細かく取り組んでいます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	6	帰りの時間が違うので当日の打合せ	帰りは、それぞれに時間が合わないのが難しい部分がありますが、翌日やミーティングで話し合える環境を整えます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	0	細かく支援記録を残しています。	体温・活動内容・取り組みを詳しく書いています。また、支援記録も残し今後も継続して行ってまいります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	0	定期的なモニタリングや支援者会議を通じて、個々の取り組みや課題を話し合う機会を設けています。	毎日の支援会議を有効活用し計画の見直しや継続の可否について全職員で取り組んでまいります。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	2	お声掛けいただいた時は必ず参加させていただいております。	児童発達支援管理責任者が中心となり参加しています。関りが強い指導員がいる場合は参加を促していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	0		必要である場合は適宜連絡をさせていただきご指導を仰いでまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	14	0		現在医療的ケア児様をお預かりさせていただいていませので主治医様から直接話を聞く機会はありませんが、その他のお子様については保護者様を通じて情報をいただいております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	14	0		現在医療的ケア児様をお預かりさせていただいていませので主治医様から直接話を聞く機会はありませんが、その他のお子様については保護者様を通じて情報をいただいております。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	12		必要である場合は適宜連絡をさせていただきご指導を仰いでまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	5		必要である場合は適宜連絡をさせていただきご指導を仰いでまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	1		必要である場合は適宜連絡をさせていただきご指導を仰いでまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	12		コロナ禍でなかなか叶っておりませんが活動する機会を設けていきたいと思っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	11	3		情報を確認しながら積極的に参加していきたいと思っております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13	1	面談や連絡帳を通じて共通理解を持てる環境を作っています。	些細な事でも連絡を取り合い状況の共有ができるよう伝えやすい環境を今後も提供させていただきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	11	3		保護者様から相談や助言を求められたときは誠実に真摯にご対応させていただいております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	0	ご契約時に丁寧に説明を行っています。	管理者や社員が中心となり行っており、短時間職員が運営規定や利用者負担についての認識が希薄である為、今後、必要に応じて研修機会などで認識を深めていく時間を作ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0		今後もガイドラインの基づき作成し、ニーズを組み入れ作成した支援計画を丁寧に説明し同意を得ていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0		面談のご案内や電話・訪問等でお話を伺って一緒に解決の糸口を探していく支援に努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	11		コロナ禍でなかなか叶っておりませんが活動する機会を設けていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14	0		職種に関係なくどの職員でも報告・連絡・相談する環境作りを行い、保護者様の相談や申し出に迅速にご対応いたします。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	0		今後も継続してHP、ブログを通じ発信してまいります。

38	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	書類は鍵付き書庫に保管しています。写真にはモザイクをかける等し個人が特定されない配慮をしています。	今後も十分に注意致します。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	特性に応じて絵カードや筆談道具、ゆっくり話すなどしています。	今後も特性に応じ個別に対応してまいります。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	4	地域住民を招待する行事は無いが、地域の祭りや行事に参加させていただいております。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	0	事例別にマニュアルを整備し職員に周知しています。	職員には周知しているが、保護者様にはその都度のお伝えでしたので今後の検討課題と致します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0	定期的に訓練や紙芝居での周知・意識付けを行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14	0	職員に周知し、該当児童様ご利用時にはミーティングで共有しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14	0	指示書の提示がない場合でも個別に聞き取り対応させていただいています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14	0	事例集をわかりやすい場所に置き共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	全職員参加の虐待防止研修を行っています。	今後も研修を行い虐待防止についての意識を定着化します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	14	0	身体拘束の可能性のあるお子様の保護者様には契約時に説明をし同意書をいただいております。職員間でも周知徹底致します。	身体拘束についての研修を行い、必ず適切な対応がされるよう意識の定着化を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。